

～意見の整理表～

統合に必要な視点	統合の検討課題等とのつながり	備考 (市教委の主な取組み等)
<p>どんな子どもを育てたいか</p> <p>①人の痛みがわかる、思いやりが持て、周りに左右されず意思を持てる子になってほしい。</p> <p>②下級生の面倒を見れて、お手本となるような子に育ててほしい。自分で善悪の判断がつけられ、悪いことはNOと言える、やさしく思いやりのある子に育ててほしい。</p> <p>③他人を思いやるやさしさをつけてほしい。たくさんの友達と関わるなかで、社会性が芽生えていければ良い。</p> <p>④思いやりがあり、伸び伸びして、責任が持てる子に、競争心を持ち健全に成長してほしい。</p> <p>⑤小さい頃は思いを自分の言葉で他者に伝え、少し大きくなったら他の子の痛みがわかる子に、中学生からは努力し続けられる子に。自分自身が挑戦できる子になるように。</p> <p>⑥人の心の痛みが分かる人間、いやなことは NO と言える人間、夢を持ち夢に向かって努力し続けてほしい。</p> <p>⑦地域・日本を支えていく子どもを育てたい。世のため人のためになれる人になってこそ豊かな人生を送ることができる。夢を持ち続けて幸せな人生を送ってもらいたい。</p> <p>⑧「知徳体」、学力、やさしさや思いやりの心、健康の3つは外せない。それに加え、最近では社会性がある。</p> <p>⑨社会人としてやっていける社会性のある子を育てたい。</p> <p>⑩社会の中で良好な関係を維持しながら、自分の能力を自由に発揮できるようになってほしい。</p> <p>⑪社会で生きていく判断力と想像力を養ってほしい。</p>	<p>東愛宕小の子ども</p> <p>①一言で言うと、伸び伸びしている。施設面でも教育の面でも伸び伸びしている。</p> <p>②子どもの人数に対して、地域の大人のほうがかかり多く、ほとんどの行事に地域の方が入っているので、子どもだけでできないことも大人が入ってカバーしており、地域と密着しているところが良い。</p> <p>西愛宕小の子ども</p> <p>①自然がいっぱいで、子どもたちはとても元気。</p> <p>②山の天辺にあり、横が団地でもなく敷地もあるので、環境が良い。</p> <p>③少人数は目をかけてもらえる点で親も安心。先生にいつもついていっているところはある。</p> <p>④他学年と仲が良い。通常1学年で行うことを2学年で行い、小さい子の面倒をみたりすることができ、兄弟、姉妹になることもできる。</p>	<p>平成21年度教育目標</p> <p>(1) 多摩市教育委員会は、子どもたちが知性、感性、道徳心及び体力をはぐくみ、人間性豊かな市民として成長することを願うとともに、「わたしがつくる我がまち多摩」の意識の醸成を目指し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間 ●市民の一人として、地域社会に貢献しようとする人間 ●自ら学び、考え、行動する個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視していく。 <p>(2) 教育は、学校・家庭・地域それぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものであるとの認識に立ち、すべての市民が教育に参加することを目指していく。</p> <p>(3) すべての市民が豊かな教養を培い、自己実現を図り、心身の健康を維持・増進するとともに、主体的・積極的にさまざまな活動に参加し、相互の交流や連帯感をはぐくむなど、あらゆる場で学び支え合うことができる地域社会の創造を目指し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭・学校・地域と連携した青少年の健全育成 ●社会教育施設の機能の充実、文化財・歴史資料の保存・収集・活用の推進 ●学習の機会や情報の提供による家庭教育支援など社会教育の充実に努める。

統合に必要な視点	統合の検討課題等とのつながり	備考 (市教委の主な取組み等)
<p>1 どんな学校にしていきたいか</p> <p>(1) 子どもの人数</p> <p>①たくましく育てるために、良い意味での競争が学校にあると良い。</p> <p>②学力面では、人数が多いと競争心が出ると思う。</p> <p>③多い人数で色々やりとりしながら学校生活を送れると良い。</p> <p>④20名以上いないとクラスといえないと思う。小規模の良さもあるが、ある程度の規模を持った学校のほうが、いろんな意味でプラスが多いと思う。</p> <p>(2) 子ども同士の学びあい</p> <p>①子どもは子どもなりに、自分達の社会で位置関係を作っている。それが身に付けさせたい社会性であると思うが、その位置関係がある程度入れ替わるような条件をつくってあげたい。</p> <p>②判断力の基は価値観だと思うが、いろんな人と接触することで判断力も出てくるし、自分の価値観を培える。いろんな人と接触できる機会を多くつくれば良い。</p> <p>③大きくできるなら大きくし、いろんな価値観の人と接触できるチャンスを広げてあげること考えたほうが良い。</p> <p>(3) 生き生きした学校生活</p> <p>①子どもたちが学校で生き生き、はつらつとして取り組んでいる姿があればいい。</p> <p>②上級生が下級生をフォローする縦割り活動がとても良い。</p>	<p>①子どもが減少する中、どうすれば魅力ある学校づくりができるかだ。</p> <p>②規模の大小はそれぞれ良い点があるが、切磋琢磨の場面では少人数は制約が生じる。</p> <p>③人数の推移を見ると、統合ありきと思う。その上で次の段階で子どもたちに手厚い人的配置をしていく。</p> <p>④単なる統合では適正規模にならない。子どもは人との関わりで成長する。</p> <p>⑤将来、5、6年先にまた統合の話ということには共感するが、今、目の前の子にとっては今が問題。</p> <p>⑥27年度の少人数を考えると、統合してこの人数で2クラスつくれば良い。</p> <p>⑦友達関係がこじれても、クラス替えがあると思えること。</p> <p>⑧配慮が必要な子どもが人数が増えたときどうなるか。</p> <p>⑨適正規模にならないことは課題だが、27年度には一桁の学年も出てくる可能性がある。統合を考えた人的配置は教育委員会に最大限検討してもらおう。</p> <p>⑩子どもが増えると活気が出る。運動会が華やかにできる。統合して複数学年になるくらいの規模になったら、子どもたちもより楽しいのでは。</p> <p>⑪新校の特色をアピールするのが大切。</p>	<p>学習指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育活動指導職員(ヒアティーチャー)の配置 ・スクールインター等的人的支援の充実 <p>地域と一体になった教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の充実 ・地域人材の活用による教育活動の推進 <p>児童・生徒の健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児生活習慣病予防健診 ・学校歯科保健推進事業 <p>学校給食の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強化磁器食器導入に伴う献立の工夫 <p>食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭の学校派遣 <p>特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援教室の充実 ・特別支援教育コーディネーターの配置及び校内委員会の充実 ・特別支援教育ヒアティーチャーの配置 ・特別支援学級の充実 <p>学校教育の情報化(ICT)の推進</p> <p>学校評価制度の推進</p>
<p>2 どんな地域をつくって学校を支えていくか</p> <p>①両校の特徴である地域に密着している点を生かせれば。</p> <p>②地域にできることはそれほど多くない。安全や、授業ではできない体験等しかできない。メインは保護者の情熱。</p>	<p>①選択制により、地域で子どもを見るのが難しくなっている。地域のお祭りや運動会等、行事へ子どもを参加させることに困っている。</p>	<p>地域の教育力を育む事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域教育力支援コーディネーターによる支援 ・家庭教育力及び子育て支援事業
<p>3 どんな環境をつくっていくか</p> <p>①子どもたちが遠い距離を登下校する場合、地域でどう見守りサポートをするか、どう働きかけるかを具体化すべき。</p>	<p>①東愛宕小では老人会が毎朝通学路に立って声かけをしている。</p> <p>②通学路の安全確保が西愛宕小の親の総意。</p> <p>③東西愛宕小間の遊歩道は人気がなく、防犯上の観点から避けてバス通りを通学路とすると、通学距離が長くなる。</p> <p>④通学路の安全面については、地域住民が考えていくべき。</p>	<p>学校安全の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の耐震化 ・セーフティ教室の推進 ・子ども見守りサポーターの充実 ・サポートリーダー活動の推進